

小林製袋産業株式会社



技術力

企業理念

メーカー

当社のアピールポイント



- ・長年培ってきた独自の技術により、国内では首位を誇る果実袋メーカーです。
- ・果実袋から農業資材まで取り扱っており、日本の農業を支えています。
- ・社員にとって働きやすい職場環境をつくるための制度づくりに力を入れています。



大地の実りを自然とともに育む

当社は、昭和22年に創立された果実袋メーカーです。梨・りんご・桃・ぶどう・枇杷・柑橘用など多種多様な果実袋を生産し、各地代理店や全農などを経て、全国各地の果樹栽培農家に販売しています。

果実袋とは、果実を育成期に包み込み、実を保護するための紙袋です。果実袋を施すことにより、強い太陽光や雨風から果実を守ります。また、病気を防いだり、栽培上必要とされる農業が直接実にかからない効果や、収穫期に色づくのを補助し、強風による落下を防止する機能を備えた袋もあり、「美しくおいしいフルーツ」の生産に重要な役割を果たしています。

小林製袋産業では、独自の技術開発を進め、現在、品質・生産高ともに製袋メーカーの首位を誇り、多くの皆さまから信頼を得ています。



おいしさを包むため、弛まぬ努力と技術の開発

当社の製品は北海道から沖縄まで、全国各地のさまざまな種類の果物に合わせ、自社工場で製造しています。地域によって気候の違い、品種の違い、用途の違いなどがあるため、さまざまな種類の製品が必要です。お客様の希望に沿える製品を提供するために各地へ直接足を運び、要望や意見を直に聞き、常に良い製品を提供できるように品質の改善・改良や、新製品の開発に取り組んでいます。

現在では国内だけでなく、韓国や中国、南米など海外へも輸出しています。また、果実袋のほかにも、農業に関するさまざまな資材を取り扱っており、特に、地元の特産品である「市田柿」は、生産から出荷までの関連資材を取り揃えています。

これからも、長年培ってきた独自の技術で地元はもちろん、日本全国、そして世界の農業の発展に貢献していきたいと思っております。

Message



開発研究員：矢澤 照義 / 開発部所属

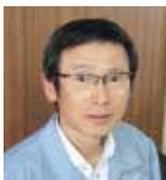
果実袋の中身は無量大

「社員一人ひとりの幸せな生活があってこそ高品質の製品が提供できる」。社長をはじめ管理職の方々からこの姿勢が強く感じられます。福利厚生が充実しており、社内の雰囲気も自由で明るいです。

私は現在、それぞれの産地に合った果実袋を試作して日本全国の園地へ赴き、評価試験を行うことで、より高品質な農産物を提供するお手伝いをしています。また、農業等の残留分析を自社で行い、製品の安全性を確認しています。仕事の性質上、すぐには成果が出

ませんが、コツコツと実施を積み上げて製品化していく達成感は他では味わえないかもしれません。

また、開発は農業分野にとどまりません。よく、学んだことを活かすことができないと悩まれる方のお話を伺うことが多いですが、ここでは「会社の型にはまる」のではなく自分の得意分野を十分に発揮して「自分の型にはめる」土壌がある職場だと思います。



人事担当者メッセージ

「わが社はおお客様の満足と信頼を得ることを最優先に考え、常に世界一の品質を誇る製品を提供する」。これが、わが社の品質方針です。この品質方針に沿い、「信頼」「感謝」「挑戦」「向上」「誠意」を基本方針として技術を研ぎ、より良い製品の開発を目指しています。「包む」技術で一緒に夢に挑戦しましょう。

冬期インターンシップ情報

お問い合わせください。

Profile

- ◆事業内容 果実育成袋の製造、園芸施設資材・包装資材の販売、食品関係包装紙の企画・印刷・販売
- ◆設立 1947 (昭和22) 年
- ◆代表者 代表取締役 小林 諭史

- ◆資本金 2,000万円
- ◆売上高 41億3,000万円 (2018年9月実績)
- ◆従業員数 125名
- ◆平均年齢 45.4歳
- ◆本社 〒395-8668 飯田市北方101

- ◆事業拠点 飯田市、東京オフィス
- ◆連絡先 総務部/横前 宏
TEL.0265-56-2968
E-mail info@k-seitai.co.jp